

「平成30年秋のロシア・カザン市における日本フェスティバル」
の実施に関する参考情報

1 メインの文化行事

一例として、出演者が「Orientalrhythm」となる場合には、主に以下のような条件を確保することが期待されます。ただし、これらは今後の調整により、変更があり得ます。

(1) 日時：10月30日18：00より

(2) 場所：カザン・クレムリンの壁にプロジェクターを投影して実施

(3) 必要な機材：

ア 会場の明るさ

- ・暗転状態でプロジェクターから投影される映像の明かりのみでパフォーマンスを行うので、屋外の場合は日が落ちてからでないと上演できない。暗転状態はそれほど「完全」でなくても問題はなく、ディナーショーなどの形式の場合は各テーブルの小さな明かりが付いている状態でも可能。

イ 照明機材

- ・プロジェクターから投影される映像の明かりのみでパフォーマンスを行うので照明は必要ない。(プロジェクターを用意することが必要。)
- ・プロジェクターは、「光量7,000～10,000ルーメン前後のもの」であれば、機種に関しての細かいオーダーはない。
- ・プロジェクターはセンターから前打ちで行う。設置位置(高さ)の指定は特にならない。
- ・映像が正しく投影できれば天井からつり下げた高い位置でも、フロアーに直置きした低い位置でも問題はない。

ウ 背景

- ・白パネル、もしくはスクリーン(白い布でも可)を用意することが必要。会場の壁やホリゾン트가白い場合は直接投影することも可能。
- ・パネルやスクリーンの下端はステージの床に接地した状態とする(使用する映像が床と接地している足元まであるのでスクリーンも床に接地するところまで必要)。
- ・スクリーンサイズは横9m、高さ5mの映像が投影できればそれ以上大きくても問題はない。

エ プロジェクターが手配できない場合

- ・LEDパネルに映像を表示する形でもパフォーマンスは可能。ただし、この場合は後ろからの強い逆光でパフォーマーの表情等がつぶれてしまうため、それを補う多少の照明が必要。(特別なものである必要は無く、ステージに登

壇される方用の照明等で十分。)

オ 舞台

・スクリーン前のスペースは横 9m、奥行き 3m あればパフォーマンスは可能。

カ その他

映像はビデオ(動画データ)をパソコンで再生して映像はプロジェクターへ、音はスピーカーシステムへ繋いで出力する。動画データの画角は 16:9。

2 コスプレ関係イベント

日本人コスプレイヤーを派遣する場合には、主に以下のような条件を確保することが期待されます。ただし、これらは今後の調整により、変更があり得ます。

(1) 日程及び行事

11月1日 (於：セレクト (共和国青年組織センター))

14:00-16:00 日本青少年万華鏡 (日本のコスプレイヤーとボリーソヴァ女史 (デザイナー) との共同プロジェクト) への出演

16:30-17:30 日本のコスプレイヤーによるコスチューム作成のマスタークラスの開催

11月2日 (於：レーニン名称カザン文化の家)

14:00-16:00 日本のコスプレイヤーによる「ジラントコン」祭りの開会式への出演

11月3日 (於：レーニン名称カザン文化の家)

11:00-14:00 日本のコスプレイヤーによるプレゼンテーション、出演、交流、写真会、コスチューム作成のマスタークラスの開催

14:00-16:00 「ジラントコン」祭りにおけるコスチューム・コンテストへの参加

(2) コスプレイヤーの人選

派遣するコスプレイヤーは、知名度に関わらず、マスタークラスやパフォーマンスに係る高い技能を有する者とする。

なお、派遣する日本人コスプレイヤー全員が男性／女性とならないよう、適当な男女比を確保する。

3 演劇の公演

一例として、演目が「モスクワ演劇劇場アパルテ(а п а р т е)」による「鶴」となる場合には、主に以下のような条件を確保することが期待されます。ただし、これらは今後の調整により、変更があり得ます。

- (1) 日時：10月31日18：00より
- (2) 場所：カリエヴァ名称青少年劇場

4 フェスティバル全体の広報宣伝活動

「平成30年秋のロシア・カザン市における日本フェスティバル」は以下の条件で行われる予定です。ただし、これらは今後の調整により、変更があり得ます。

- (1) 日時：10月30日～11月10日
- (2) 主な行事：開会式を含む計30件以上
- (3) 主催者：タタールスタン共和国政府（産業貿易省、文化省）

(了)